

環境

Environmental Newsletter

ニュースレター

No.22

発行日：2015.7.24

Contents

あきたエコマイスター 平成27年度総会・活動予定	2~3
市町村訪問〈大館市環境課〉	4
木質バイオマスエネルギーと林業・ 地域活性化について ～平成27年度 環境あきた県民フォーラム 通常総会基調講演～	5
エコドライブ講習会が 開催されました	6~7
「環境あきた県民塾」 塾生募集について	7
Information	8

エコマイスター協議会の 総会が開催されました

あきたエコマイスター県北協議会

平成27年5月24日(日) 北秋田市交流センターにおいて開催されました。

平成26年度の事業に関する報告、平成27年度の事業案、会則の改定などの審議の後、講演会が行われました。最初の講演の「秋田県の報告」では環境管理課から、環境あきたリーダー育成事業やこどもの環境教育支援事業についての説明や、あきたエコマイスターの個人の活動について紹介がありました。

次に、「気象の知識を暮らしの中へ」との演題で大館郷土博物館の鳥潟幸男氏の講演が行われ、気象の豆知識として県北地方、特に北秋田、大館、鹿角地域の最低・最高気温、冬日の日数、積雪量などについて簡単なクイズ方式で講演がすすめられました。地域の気象は地形によって大きく左右されること、気象の知識があればエコな生活ができ、かつ災害時にも役立つ、という講話の内容でした。



あきたエコマイスター県央協議会

平成27年4月18日(土) 協働大町ビルにおいて開催されました。

平成26年度の事業に関する報告や平成27年度の事業案、役員改選などの審議の後、活動報告会が行われました。

例年であれば、総会の後、特別講演会を開催していましたが、今回は担当者自ら写真などを紹介しながら活動内容を報告し、好評を得ていました。報告の内容は「エコマイスター及び一般市民を対象にした環境問題に関するスキルアップ講座」、「千秋公園のクリーンアップ作戦」、「草生津川(秋田市)環境保全のための草刈り活動」など12件でした。



あきたエコマイスター県南協議会

平成27年5月16日(土) 横手市のY²(わいわい) ぷらざ において開催されました。

総会の参加者は25名で、うち新規登録者が10名となり大いに盛り上がり、無事終えることができました。交流会では様々なお話がありましたので紹介します。

- ・屋根にソーラーを設置しているので環境について勉強してみたいと思った。
- ・自然観察会に参加して楽しかった。
- ・自分でできる範囲でエコを進めてみたい。
- ・ごみをできるだけ出さない。生ごみは堆肥にして自然に還元している。
- ・できるだけ行事に参加したい。自分のことから実践していきたい。

その他たくさんのご意見をいただきました。今後の活動の参考にしたいと思っています。(事務局 戸嶋さん 記)

あきたエコマイスター

環境あきた県民塾*を修了し、「地域の環境保全活動のリーダー」として登録された方々
地域におけるごみの3R、省エネの実践、クリーンアップ活動、森林の保全活動等を率先して実施しています。

(協議会は県北・県央・県南とあり、様々な活動を企画・実施しています。)

※今年度の県民塾についてP6~7に掲載しています。





あきたエコマイスター協議会の活動予定

あきたエコマイスター協議会（県北・県央・県南）のこれからの活動予定について紹介します。興味のある行事に、ぜひ参加してみてください。

詳細についてのお問い合わせは、それぞれの協議会事務局までどうぞ。
（日時などは変更になる場合がありますので、ご了承ください。）

県北協議会

事務局：090-5595-7187（山口）

実施日（予定）	行 事 名	内 容
9月 6日（日）	環境体験公開講座（第2回）	詳細未定
10月24日（土） ～25日（日）	北秋田市産業祭	展示：3R、温暖化防止、環境あきた県民塾 体験：小型家電リサイクルの啓発
11月 8日（日）	環境体験公開講座（第3回）	生ごみの消滅
日程未定	自然観察会	小友沼（野鳥飛来地）他（能代市）

県央協議会

事務局：018-839-8633（川越）

実施日（予定）	行 事 名	内 容
8月 1日（土）	作って満足、ぼくとわたしの夏の工作 ～木の宝物づくり～	小学生を対象とした流木や廃材等を利用した木工工作 秋田県生涯学習センター（秋田市）
9月 5日（土） ～6日（日）	第15回あきたエコ&リサイクルフェスティバルへの出展参加	環境保全関係の展示や実験など（秋田駅ばらーどやアルヴェ・秋田市）
9月頃	草生津川環境保全のための草刈り	小河川の環境保全作業（草刈り等）で汗を流そう！ （秋田市草生津川北インター付近）
10月上旬	ゴミのポイ捨てを考える会	由利本荘市三望苑周辺を中心にゴミ拾い活動
10月中旬	落葉の葉づくり ～秋田県読書フェスタ～	親子による「葉づくり体験コーナー」の開催 （秋田県生涯学習センター・秋田市）
10月下旬	ゴミのポイ捨てを考える会	にかほ市と協働で行う、にかほ高原観光道路のクリーンアップ作戦
4月～ 毎月最終土曜日	あきたエコ塾	環境問題を中心にした対話型の勉強会 （秋田県生涯学習センター・秋田市）
3月～翌年4月	松くい虫探査（11月～2月休止）	県立大学・地域団体との協働で活動 （夕日の松原秋田キャンパス周辺県有林地内）
11月7日（土）まで	里山エコの森づくり （27年度6回実施予定）	森林整備、子供たちの木工教室開催、森林を生かした環境学習会など（由利本荘市大内三川地内）
2月13日（土） まで	由利本荘エコ・リサイクル教室 （27年度5回実施予定）	環境問題を中心にした対話型の勉強会 （西目シーガル）

県南協議会

事務局：0187-63-2397（戸嶋）

実施日（予定）	行 事 名	内 容
8月下旬	施設見学会	湯沢市の浄水場などの見学
9月中旬	南部ハーモニープラザまつり参加	イベントに参加して啓発活動の実施 （横手市南部男女共同参画センター）
9月下旬	自然観察会	詳細未定（羽後町）
11月上旬	講演会・交流会	講演内容未定

市町村訪問

～環境行政の特徴等を伺うため、大館市環境課を訪ねました。～



大館市は、昭和50年代から公害を防止し、市民の生活環境を保全するため、旧公害防止条例においてし尿浄化槽を特定施設として監視指導の対象とするなどの、先進的な取り組みをしてきました。近年は環境関連施設との事前協議や協定、覚え書き、報告、市民への公表等により環境保全に向けた取り組みを強化しています。

特徴的な施策

木質バイオマスの利活用

間伐材等の未利用の資源を活用したペレット燃料化の推進と、市の庁舎等でのペレットボイラーやペレットストーブの導入を積極的に進めています。平成26年4月現在で、本庁舎や総合支所、公民館などに、ペレットボイラーが9基、ペレットストーブが114台設置されました。

ペレット燃料化の推進については、一貫した木材の有効活用という視点で、建設資材としては使えない材料をリサイクル認定製品の原料として、さらに残材は杉材をペレットに、雑材をチップとして、捨てるところがないよう最後まで使い切り、価格の安定化と温暖化対策につながるような仕組みづくりがされています。

建築資材としては使えない木材

リサイクル
認定製品として

木材・プラスチック
再生複合材などの
再生建材

残 材

<杉材>
ペレット

<残材>
チップ

環境マネジメントシステムの推進

10年以上運用している環境管理の国際規格であるISO14001のノウハウを活用し、市の事務事業全体に関して環境マネジメントシステムの運用・改善に取り組んでいます。

電気、燃料等の削減は職員全員が取り組む体制をつくり、その成果をCO₂排出量に換算すると平成26年度は平成17年度に比べ430トンの削減、1,300万円の経済効果を実現しました。

廃棄物処理及びリサイクルの体制

一般廃棄物処理業務は自治体が行うのが普通ですが、大館市では民間ができることは民間が参画するという考えで行っています。

平成17年8月稼働の大館クリーンセンターでは、PFI^{*1}方式によるごみ処理事業として、民間の資金力とノウハウを活用することにより、環境に配慮した適正な処理の実現や経費の縮減を図ることができました。

また、特徴的な事業として、不要物を無償で受け入れ、使いたい人に譲渡するリユースの場であり、資源物を一時保管する機能を有した「大館市エコプラザ」事業があります。土曜・日曜も開設、10時から夜7時まで受け入れ可能といった住民本位型の施設です。今後の利活用が望めます。

取材を終えて

この他に、BDF^{*2}やJクレジット、大館市エコ・アクションポイント、公共施設のLED化など、興味深い施策をたくさん聞くことができました。さらに、今後目指す新エネルギーの活用として、鉱業の関係で地下のデータが多いという利点を生かして、地中熱などの活用を挙げておられ、前向きな姿勢に感嘆しました。

貴重な時間を割いていただきました成田課長、黒田補佐に感謝します。

※1 PFI (Private Finance Initiative)

従来、国や地方自治体が行ってきた道路や橋などの社会資本の整備や管理運営を民間に移管し、民間資金と企業経営のノウハウを用いて効率のよい公共事業を行うことにより、財政負担を軽減を図ろうとするもの。

※2 BDF (Bio Diesel Fuel) ……バイオディーゼル燃料

植物由来油から作られるディーゼルエンジン用燃料の総称であり、バイオマスエネルギーの一つ。

「木質バイオマスエネルギーと 林業・地域の活性化について」

講師：秋田県林業研究研修センター

研修普及指導室長・博士（農学）

菊地 與志也 氏

環境あきた県民フォーラムの通常総会において、木質バイオマスの利用を専門分野とする菊地與志也氏を講師に招き、講演会が行われました。

講師は、これまでに地域にある木質資源を活用する「木質バイオマス発電施設」及び「ペレット製造工場」や「木質ペレットボイラー」の設置計画に数多く関わってきました。今回はバイオマス発電、木質ペレット、薪の利用について具体的に話されました。

◎バイオマスとは、再生可能な生物由来の有機資源（化石資源を除く）を表す言葉です。

植物は光合成を行うことによって、太陽のエネルギーを蓄えています。このように太陽エネルギーを地上に留められるのは植物だけであり、そのうち90%が森林に蓄積されています。それを活用する長所は、クリーンで再生可能であり、様々な利用方法があること、短所は、集めるのが大変で、エネルギーへの変換が複雑であることが紹介されました。

木質バイオマス発電については、講師が製紙・ボート工場等に秋田県や岐阜県内等で実際に導入したプラント施設を事例にそのシステムについて説明がありました。また、電力の固定買い取り制度や発電量5MWの場合の試算について述べられました。

最近注目されてきている木質ペレットについて、木質チップは比重が軽くてかさばるが、木質ペレットにする扱いやすく、さらに保管しやすくなるという長所のほか、木質ペレットを使った冷暖房施設や農業用のペレットボイラー等が実現しており、カーボンニュートラル^{*}な燃料の使用が増えることにより、二酸化炭素排出量の削減にも貢献している例の紹介がありました。また、薪ストーブの人気も高まり、薪の入手が困難な地域がある中、長野県では、薪の宅配システムが確立しています。こうした工夫により薪の需要もさらに増え、ビジネスとして成り立っている事例の報告もありました。



講話の内容は、固定買取制度による発電システムや焼却灰の活用、ペレットボイラーの具体例、ペレット支援システム構想、そして全体を融合した形の「グリーンバイオマス発電プロジェクト(案)」と幅が広く、これからの地域活性化に夢を抱けるものでした。講師からは「今後も未利用である地域の木質資源をエネルギーに変換して様々な産業を興しながら、企業経営と福祉事業を融合させた新たな地域社会の創出（社会貢献産業）を行いたい」との想いが語られ、終始和やかな雰囲気の講話が終了しました。

^{*} カーボンニュートラル

排出される二酸化炭素（カーボン）の量と吸収される二酸化炭素の量が同じ量である状態のこと。

植物由来の燃料や原料の燃焼でも化石燃料と同じように二酸化炭素が発生しますが、その発生量と植物が成長する過程で光合成を通じて吸収した二酸化炭素の量が同じであることを指します。大気中の二酸化炭素の量は増えないことになります。



木質チップ



木質ペレット

エコドライブ実技講習会が 開催されました

平成27年5月23日(土) 運転免許センターを会場に県、秋田市、JAF主催の「エコドライブ実技講習会」が開催されました。内容は一般の方を対象としたエコドライブに関する技術を習得していただくというもので、20名の方が参加されました。

開会式では、「本日のエコドライブの講習会は、地球温暖化対策の一環として自動車から排出される二酸化炭素の量をなるべく減らし、環境に配慮した自動車の使用方法、エコドライブの技術の普及を図るものである。」との趣旨説明があり、共通の認識ができたところで講習が開始されました。

最初に燃費を抑えるなど環境にやさしい運転操作について学び、次にエコアドバイザーによる「通常の運転」「省エネ運転」「エコドライブ」の実演がありました。参加者はエコドライブで大切な発進時から時速20kmに

達するまで5秒かけて加速するというアクセルワークに苦労しながら練習した後、燃費を測定しました。エコアドバイザーは、参加者の通常走行時とエコドライブ時の結果診断書を準備し、個別にアドバイスをしました。参加者からは、「発進時に5秒で時速20kmまで加速するアクセルワークが難しい」「エンジnbrakeを使うと燃費も良くなることに驚いた」といった感想が聞かれました。

閉会式では、JAF秋田支部から「エコドライブには3つのポイントがある。発進時に5秒で時速20kmまで加速するアクセルワークが一番大事。次いで走行時に一定のアクセルワークで走行すること。そのためには車間距離を十分にとり、先を読む

こと。3つ目は減速時早めのアクセルオフでエンジnbrakeを使い燃料の消費を抑えること。これがエコドライブ運転時の3つの大きなポイントとなる。他にタイヤの空気圧調整やアイドリングストップなどもある。今日の短時間の講習では、頭で理解しても実際にアクセルワークがうまくできない方も結構いると思う。一般道では、発進時5秒で20kmまで加速するアクセルワークを実行するだけでも10パーセントの改善は確実にできると思う。今日、帰るときから実践していただきたい。今日習ったエコドライブの運転術を家族、友人、知人、職場の皆さんにも伝授していただき、エコドライブの輪を広げていただきたい。」との話がありました。最後に参加者へ修了書を交付し講習会は終了しました。



実技中の様子



診断結果のアドバイスの様子

平成27年度の塾生を募集しています! 環境あきた県民塾

身の回りのことから、地球規模の問題まで、様々な環境問題を一緒に考え、行動しましょう。今年度は、能代市二ツ井での開催です。

お申込みは随時受け付けていますので、ぜひ下記までお問い合わせください。

会

場

7月

二ツ井町公民館 TEL.0185-73-2590
〒018-3152 能代市二ツ井町字下野家後49

9月~12月

二ツ井伝承ホール TEL.0185-73-4002
〒018-3118 能代市二ツ井町字上台1-1

「環境あきた県民塾」の申込み・お問い合わせ先

一般社団法人 あきた地球環境会議「環境あきた県民塾」事務局

TEL&FAX 018-874-8548

主催：秋田県生活環境部環境管理課

基本は運転姿勢

エコドライブをする以前に、正しい運転操作を出来るようにするためです。

- ・シートに深く腰かけてブレーキペダルをいっぱいまで踏み込んだ時、膝の関節が少し曲がっている状態になるようにシートの前後位置を調節します。
- ・ハンドルを握った時も肘が少し曲がるようにします。



エコドライブのポイント

ふんわりアクセル&早めのアクセルオフ

- ・停止時から発進する時、アクセルはふんわりと踏み、だいたい5秒で時速20Kmになるように加速していきます。
- ・オートマ車の場合はクリーブ現象（アクセルを踏まなくても自動で前進する動き）を活用し、一呼吸おいてからアクセルを踏みましょう。
- ・停止するときやカーブなど減速するときは、早めにアクセルから足を離し、エンジンブレーキを利用するようにします。

※ゆっくり過ぎる発進だと、後続の車のストレスになったり、渋滞の原因になってしまいます。そうすると他の車の燃費が悪化し、エコドライブではなくなってしうので、「ゆっくり発進」ではなく、「ふんわりアクセル」を心がけましょう。



不要なアイドリングはストップ

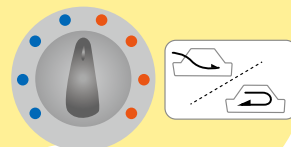
少し車を離れるとき、人を待つときなどのエンジンのかけっぱなしでも、燃料はどんどん減ります。このようなときはエンジンを切り、アイドリングストップをしましょう。信号待ちのときのアイドリングストップも効果的ですが、車によってはバッテリーが上がってしまうなど、再始動ができなくなることもあり得ます。特に交差点や坂道などは注意が必要です。無理はせずに、安全な場所で実施しましょう。



車内の温度調節

エアコンの使用も多くの燃料を使用します。夏は車内を冷やしすぎないように、冬は温めすぎないように、こまめな温度調節をしましょう。

また、エアコンを効かせたいときは「内気循環」にし、車内が涼しくなったら「外気循環」に切り替えることで、燃料消費を抑えることができます。



講座内容

回数	開催日	時間	テーマ	分野	単位
1	7月26日(日)	13:00~15:30	環境問題とは?	座学	1
2	8月29日(土)	10:00~12:00	大気・水圏の環境問題を知る・測る~世界から秋田まで~	体験	1
3		13:00~15:30	ふるさとの自然再考~里山で保全を学ぶ~	体験	1
4	9月13日(日)	10:00~12:00	地球温暖化を理解する~現象と影響~	座学	1
5		13:00~15:30	ライフサイクル思考で~ライフサイクルを見直そう~	座学	1
6	10月14日(水)	10:00~12:00	上手な化学物質との付き合い方~フロンガスにみる化学物質管理~	座学	1
7		13:00~15:00	リサイクル~まわる仕組みをみに行こう~	体験	1
8	11月8日(日)	13:00~15:00	見て学ぶ環境放射能~正しく付き合う考え方~	体験	1
9	12月6日(日)	10:00~12:00	アーバンマインとは?~鉱山王国の底力!~	座学	1

●体験分野を含めて6単位以上取得された方を修了生とします。

●修了生の方は地域の環境保全活動のリーダー「あきたエコマイスター」として県に登録できます。

●託児サービスを希望される方は、各回開催の14日前までにお申し込みください。

※体験講座はすべて貸切バスでの移動となります。

8/29の体験講座は、「能代市役所二ツ井町庁舎」に9時集合、16時解散となります。

家庭の照明省エネ化推進事業 LEDへの買い換えを 助成します!

県では、地域の消費喚起と地球温暖化対策のため、ご家庭で使用されている照明器具をLEDへ買い換える場合、購入金額の1/3(最大2万円)を助成します。

まずは購入前に助成券の交付を受けましょう。

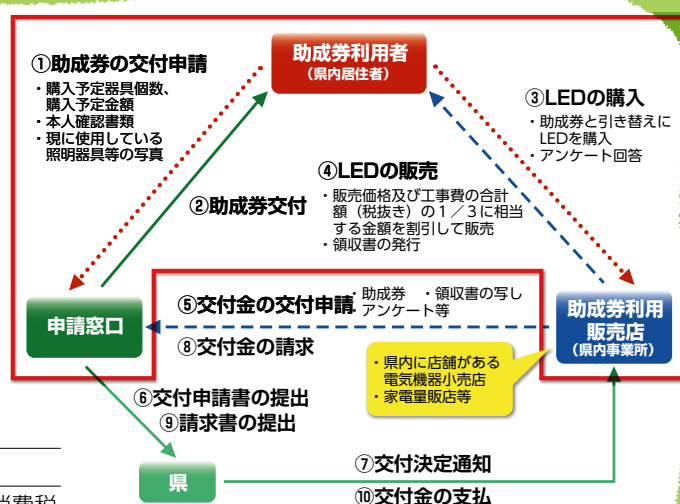
申請期間

平成27年8月31日まで

持参または郵送により申請書類を提出してください。

助成対象者	県内に居住する方
助成対象経費	LED照明器具等の購入費及び設置に伴う工事費(消費税及び地方消費税の額を除く) 【条件】・LED以外の照明器具等からLED照明器具等への買い換えであること ・助成対象経費が1万円以上であること ・県の他の補助制度へ重複計上していないこと
助成金額	助成対象経費の合計額の1/3 (上限2万円 ただし千円未満切り捨て)

申請手続きの流れ



申請窓口及びお問い合わせ先

NPO法人 環境あきた県民フォーラム
〒010-1403 秋田県秋田市上北手荒巻字堺切24-2
遊学舎内
TEL 018-839-0188/080-4150-8309
E-mail mail@eco-akita.org



あきたクリーンパートナーを 募集しています!

県では、環境美化活動に取り組んでいる町内会、学校、企業等の団体を、「あきたクリーンパートナー」として登録し、清掃用具等を提供することにより、その活動を支援しています。また、県のホームページにおいて活動の実績を公表しています。

具体的な活動として、通学路などの道路清掃・除草、散乱ごみ等の収集や、花植、花壇づくりなどを行っています。平成27年6月22日現在、登録団体数は105団体、登録人数は8,108人です。

構成員が5人以上で、秋田県内で環境美化に取り組んでいる団体であれば、「あきたクリーンパートナー」に登録することができます。

(なお、提供できる清掃用具の数に限りがありますので、事前にお問い合わせください。)



旭建設株式会社の皆さんの活動

申請は

秋田県生活環境部 環境整備課 調整・循環型社会推進班
TEL 018-860-1622 FAX 018-860-3835
E-mail recycle@pref.akita.lg.jp

イベント情報

8月1日(土)~2日(日)
横手エコライフフェスタ

10:00~15:00

体験型ワークショップが盛りだくさんの
学習イベントです(参加無料)。

【場所】よこてイースト にぎわいプラザ
園 (一社) 平鹿建設業協会 建青会
TEL 0182-32-5245 (平日9:00~17:00)

9月5日(土)~6日(日)
あきたエコ&
リサイクルフェスティバル

10:00~16:00

【場所】秋田駅前アゴラ広場、買い物広場
大屋根下、ぼぼろーど

園あきたエコ&リサイクルフェスティバル
実行委員会事務局
(秋田県生活環境部温暖化対策課内)
TEL 018-860-1573
FAX 018-860-3881
E-mail en-ondanka@pref.akita.lg.jp

秋田県生活環境部環境管理課

発行

〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号
TEL 018-860-1571 FAX 018-860-3881
E-mail kankan@pref.akita.lg.jp

編集

NPO法人 環境あきた県民フォーラム

秋田県地球温暖化防止活動推進センター (ACCCA)

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎 (秋田県ゆとり生活創造センター) 内
TEL・FAX 018-839-8309 E-mail mail@eco-akita.org
ホームページ www.eco-akita.org/onsen

